

さいたま市地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)

平成25年3月



さいたま市

はじめに

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災とその後の東京電力福島第一原子力発電所の事故を契機に、原子力発電に依存してきた我が国の地球温暖化対策は大きな方向転換を迫られております。

このことから、原子力発電への依存度を低減しながら、低炭素社会を実現することが喫緊の課題となっており、地方自治体においても、国の方向性を注視しつつ、率先してこの課題に取り組んでいく必要があります。

また、本計画の上位計画である「さいたま市環境基本計画（平成 22 年度改訂）」において、本市の望ましい環境像として「自然と共生し持続可能な環境を未来ある子どものために伝える都市」を掲げております。地球温暖化が原因と考えられる環境問題、市内の産業・経済の活性化、さらには地域のエネルギーセキュリティの確保といった様々な課題を前に、本市が持続可能な環境を次世代に引き継いでいくためにも低炭素なまちを実現することが求められております。

そこで、有識者及び市民公募委員による「さいたま市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定検討委員会」において本市の温室効果ガス排出量の削減目標や目標達成のための施策について検討を重ね、さらに、市民の方々からいただきましたご意見も参考に、計画を取りまとめたところでございます。

平成 32 年度を目標年度とする本計画においては、「省エネ・創エネ」、「経済との両立」、「市民・事業者の意識向上」、「環境負荷の少ない都市整備」の 4 つの基本方針に基づき、本市の特性を最大限活用した施策を展開し、都市活動と温室効果ガス排出抑制との調和がとれ、誰もが文化的で快適な暮らしを享受できる「低炭素都市」の実現を目指してまいりますので、皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

平成 25 年 3 月

さいたま市長 清水 勇人



さいたま市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

目次

第1章 計画策定の背景・趣旨

- 1-1 計画策定の背景と意義..... 1
- 1-2 旧計画「さいたま市地球温暖化対策地域推進計画」の状況.. 4
- 1-3 計画策定の基本的な考え方..... 6
- 1-4 計画の基本的事項..... 7

第2章 さいたま市の現状及び特性

- 2-1 さいたま市の温室効果ガス排出状況..... 9
- 2-2 さいたま市の特性..... 18

第3章 温室効果ガスの削減目標

- 3-1 さいたま市が目指す将来の姿..... 22
- 3-2 温室効果ガスの削減目標..... 27

第4章 削減目標の達成に向けた施策

- 4-1 各主体の役割..... 30
- 4-2 施策の体系..... 31
- 4-3 施策の展開..... 33
- 4-4 重点施策..... 51

第5章 推進・進行管理

- 5-1 計画の推進..... 71
- 5-2 計画の進行管理..... 73
- 5-3 財政的課題への対応..... 73

資料編

資料 1 . さいたま市の自然的・社会的特性.....	75
資料 2 . 市民・事業者の意識や意向.....	83
資料 3 . 温室効果ガス排出量推計方法.....	87
資料 4 . 目標の設定方法.....	89
資料 5 . 市民・事業者の主な行動メニュー.....	95
資料 6 . 温室効果ガス推計方法の一部見直し.....	113
資料 7 . 策定経緯.....	115
資料 8 . さいたま市地球温暖化対策実行計画 （区域施策編）策定検討委員会名簿.....	116
資料 9 . 用語解説.....	117